

心臓血管造影装置

2台体制運用開始

製鉄記念室蘭

室蘭市の製鉄記念室蘭病院（足永武理事長、松木高雪病院長・三百四十七床）は、心臓血管造影装置を増設、二台体制での運用を開始した。

同病院の二十五年度における冠動脈造影件数は五百二十五件、冠動脈形成術は二百五十件といずれも過去最多になり、いつそうの患者増加に備えた。

今回導入した機種は、シングルプレーンタイプで操作性に優れ、病変を早く評価できるのが特徴。大型モニターで見やすく、被ばく量の監視も可能という。安全性が向上し、二台体制で救急患者対応もより迅速化できると期待している。